

MS341-47026

GRフロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はGRフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは必ず車両登録後に行なってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	年式
MS341-47026	プレシャスブラックパール(219)	プリウス	'22.12～

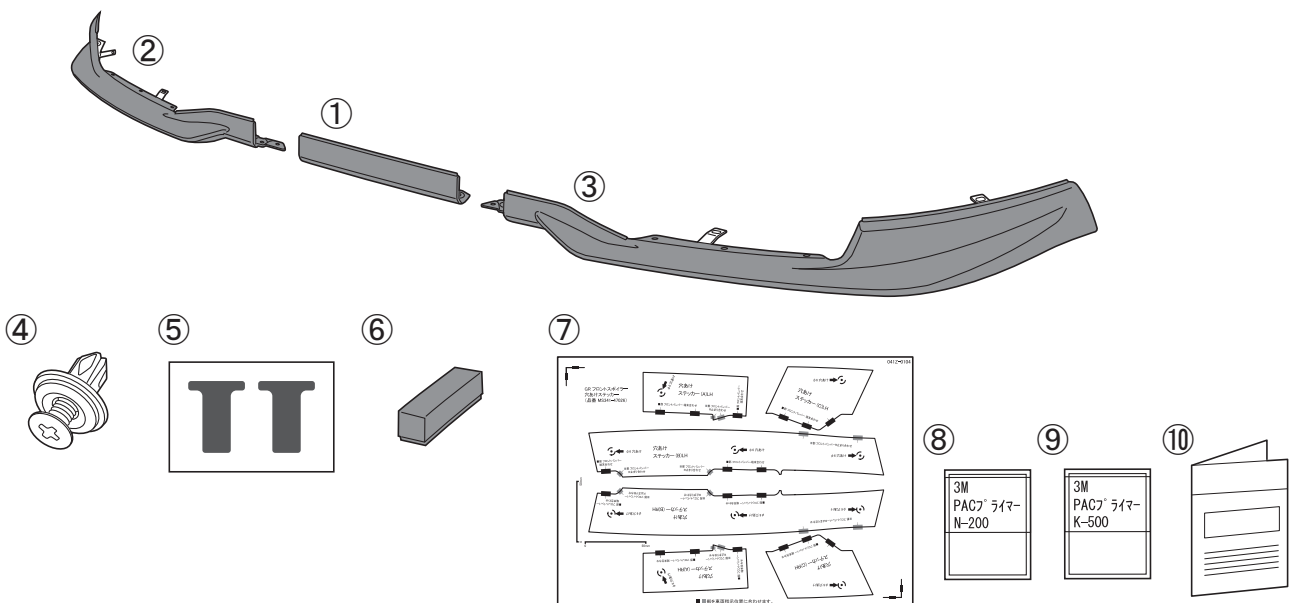
・最新の適合情報はGRカタログサイトをご覧ください。<https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	部品名	品番	個数	備考
①	センターピース		1	219色塗装品
②	サイドピース RH		1	219色塗装品
③	サイドピース LH		1	219色塗装品
④	スクリベット		12	
⑤	ブラックアウトステッカー		2	
⑥	エプトシーラー		4	
⑦	穴あけステッカー		1	
⑧	PACプライマー	08867-00220	1	N-200
⑨	PACプライマー	08867-00230	1	K-500
⑩	取付・取扱要領書		1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより、重大な事故や故障を招くおそれがあります。

注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図…………… 1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)…………… 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付け構成図…………… 3
4. 取付け準備・取付け要領…………… 4～11
5. 取付け完了後の点検・注意事項…………… 11
6. 補修キットの両面テープ貼付け…………… 11

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・クリップリムーバー
- ・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル(刃:3.0mm/6.0mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

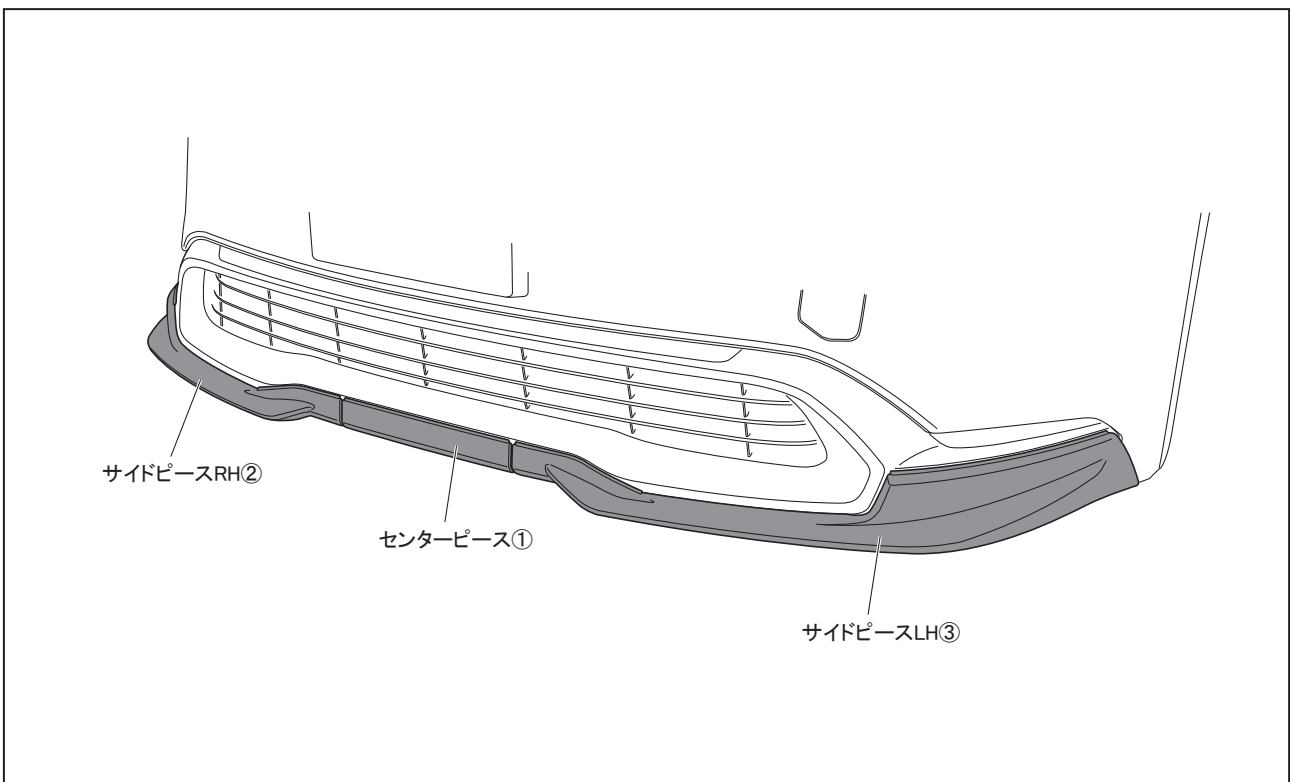
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

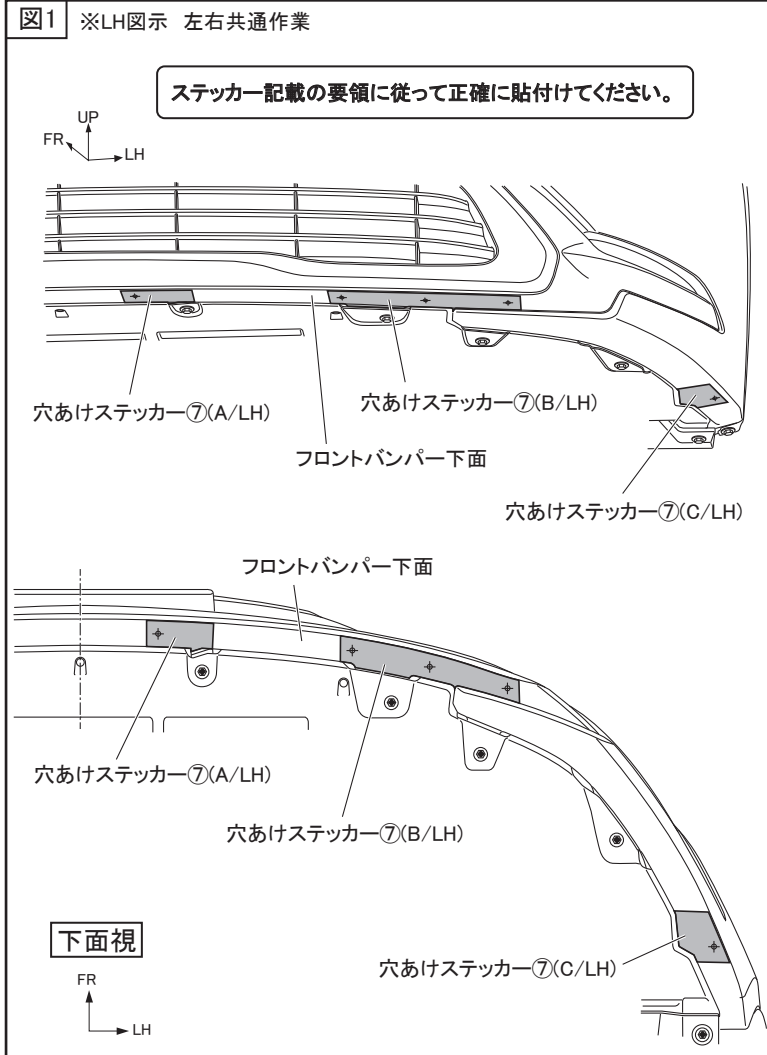
■ 取付け構成図



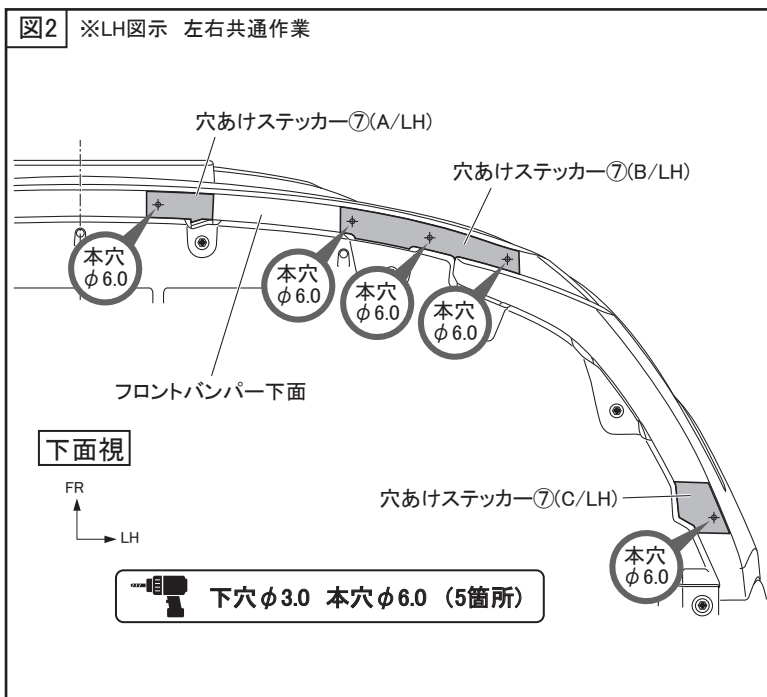
■ 取付け準備・取付け要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ フロントスポイラーの取付け準備



1. 図1のように穴あけステッカー⑦(A)、(B)、(C)をフロントバンパー下面に貼付ける。

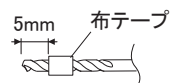


2. 図2のように穴あけステッカー⑦(A)、(B)、(C)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。(5箇所)

⚠ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

📌 **アドバイス**：突き抜け防止のため、ドリル先端から5mmのところを布テープを巻付けてください。

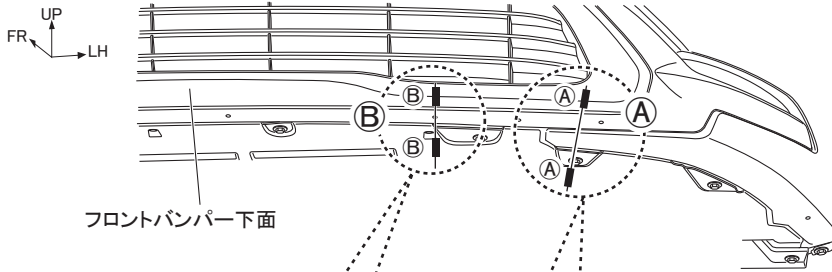


3. 穴あけステッカー⑦(A)、(B)、(C)を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

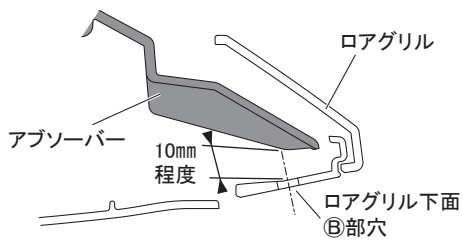
※フロントバンパーの脱着作業を行なった場合は、以下の確認作業を行なってください。

図3 ※LH図示 左右共通作業

フロントバンパーの脱着作業を行なった際に、図示(A部)のロアグリルのツメが正しい位置(アブソーバーの下)で復元できていないと、アブソーバーの上になってしまい、ツメが変形しアブソーバーを押し下げてしまいます。その状態ですと、本製品を取付ける際に図示(B部)でスクリベットに干渉するおそれがありますので、図示の内容を確認し正しく復元できていない場合は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、フロントバンパーを一度取外し、ロアグリルのツメが正しい位置になるように注意して再取付けを行なってください。

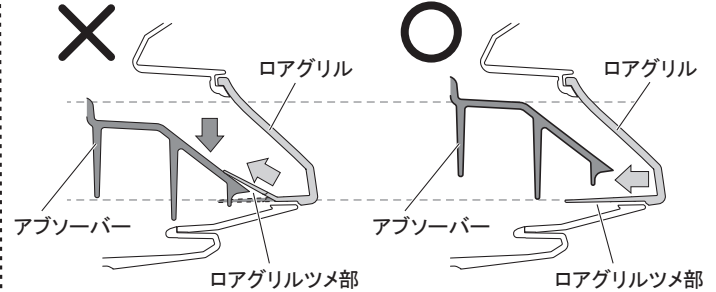


②部 Sec. ②-②



②部穴からロアグリルとアブソーバーとの距離を確認し、10mm程度あれば正常、5mm程度の場合は正しく復元出来ていない可能性があります

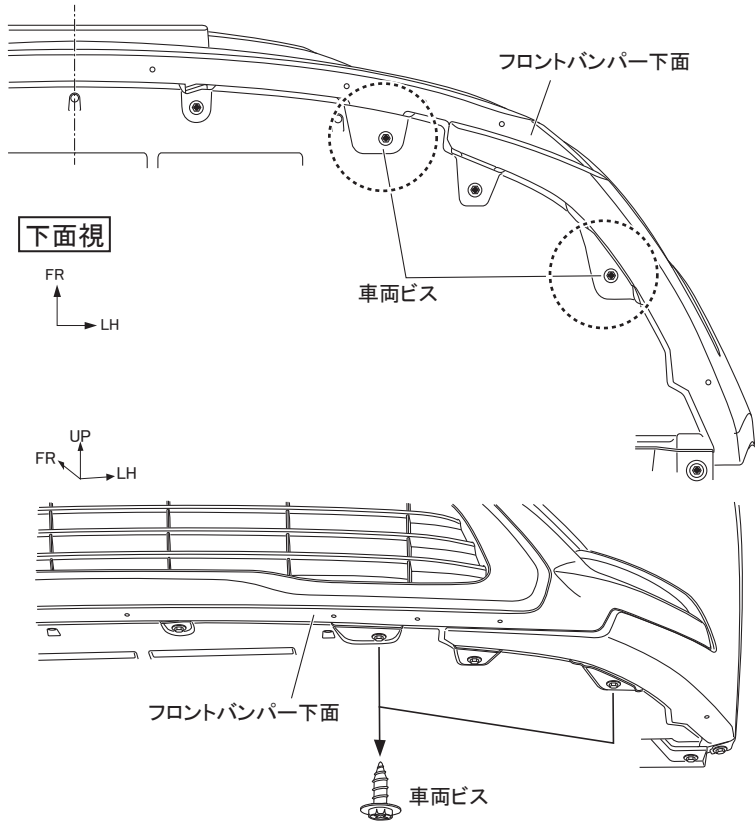
①部 Sec. ①-①



※アブソーバーの上に入ってしまうアブソーバーを押し下げている

※アブソーバーの下に入っている状態が正常

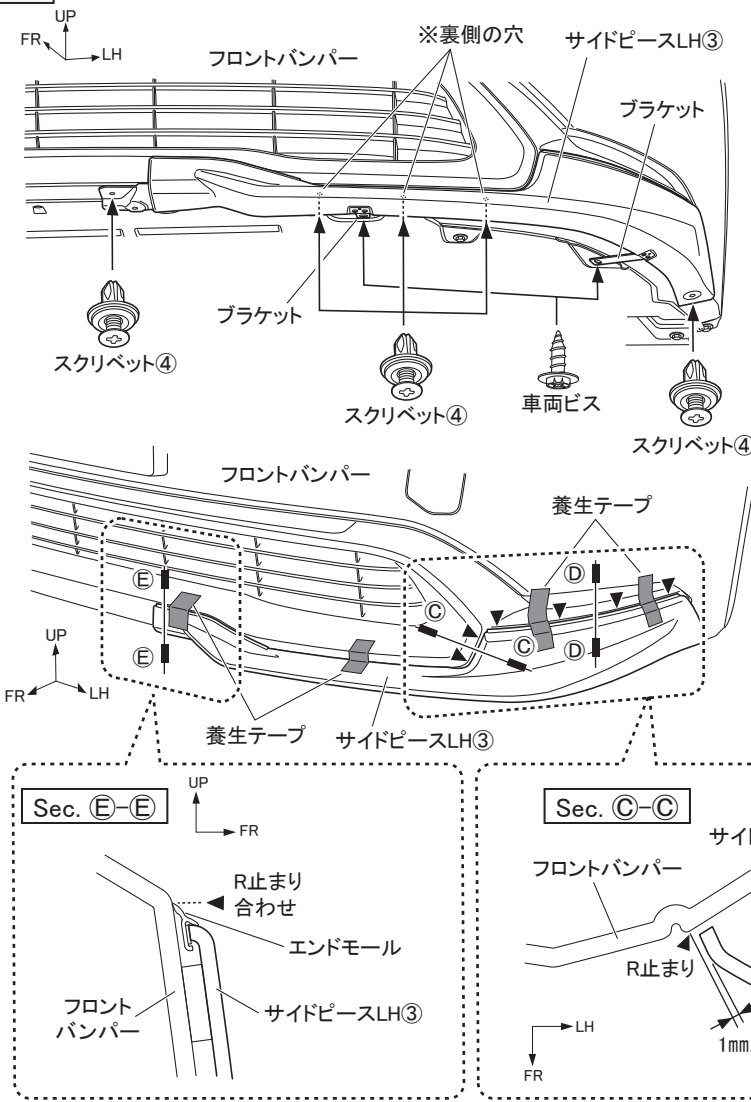
図4 ※LH図示 左右共通作業



4. フロントバンパー下面の車両ビスを取外す。(2箇所)

👉 **アドバイス**：取外した車両ビスは再使用します。

図5 ※LH図示 左右共通作業



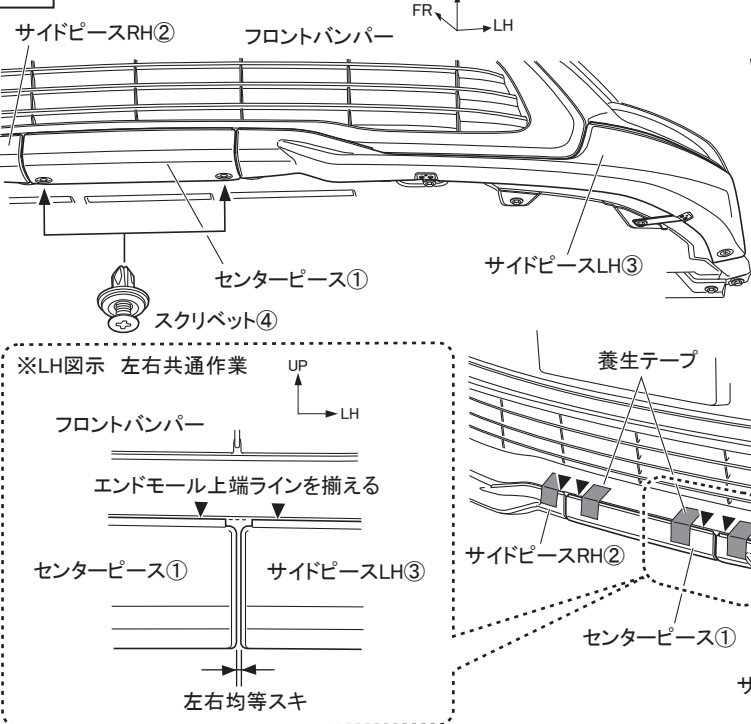
5. 図5のようにフロントバンパーにサイドピースLH③をあて、先にブラケット部を車両ビス、次にスクリベット④で仮固定する。(7箇所)

アドバイス: スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーで回して締め込んでください。

6. 図5のようにサイドピースLH③とフロントバンパーの位置を合わせて養生テープで仮固定する。

7. 同様にサイドピースRH②も仮固定する。

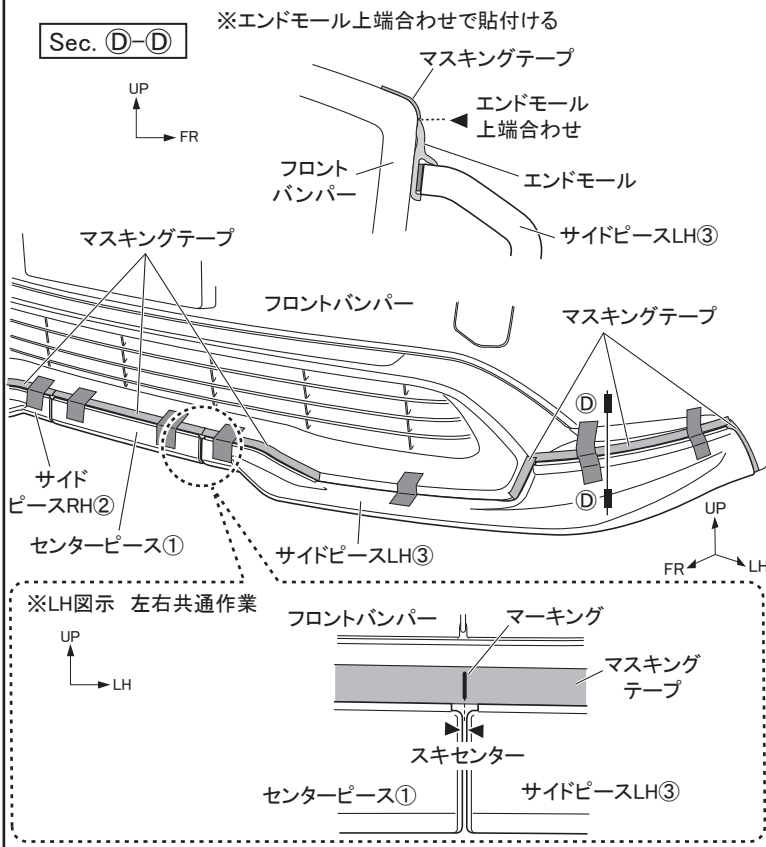
図6 ※LH図示 左右共通作業



8. 図6のようにフロントバンパーにセンターピース①をあて、スクリベット④で仮固定する。(2箇所)

9. 図6のようにサイドピースRH②とサイドピースLH③のエンドモール上端に位置を合わせて養生テープで仮固定する。

図7 ※LH図示 左右共通作業



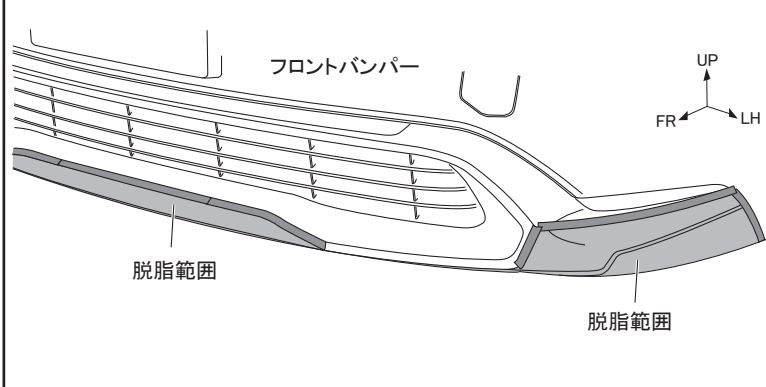
10. 図7のようにセンターピース①、サイドピースRH②、サイドピースLH③のエンドモール上端に合わせてマスキングテープを貼付ける。

⚠ **注意** : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置を出し、マスキングを行なってください。

11. マスキング後、センターピース①とサイドピースLH③のスキセンター位置をマスキングテープにマーキングする。
※後の工程でブラックアウトステッカー⑤を貼る際の目安となります。

12. センターピース①、サイドピースRH②、サイドピースLH③を一旦取外す。

図8 ※LH図示 左右共通作業

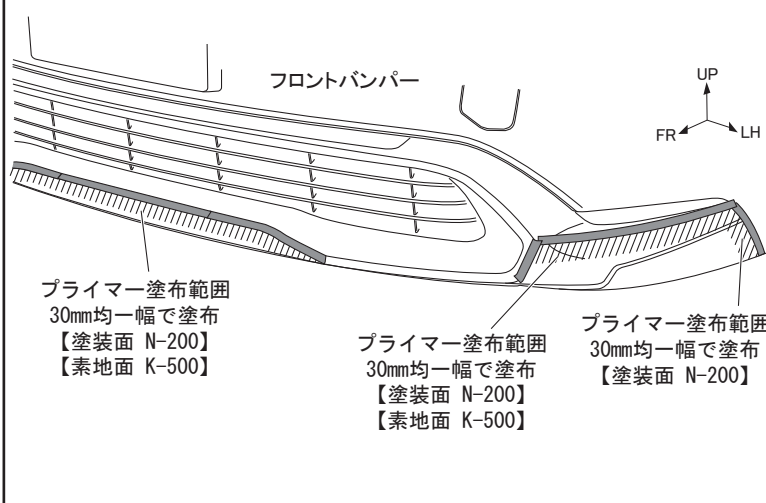


13. 図8 ■部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意** : 脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

👉 **アドバイス** : 脱脂を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。
脱脂後は、十分に乾燥させてください。
※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図9 ※LH図示 左右共通作業



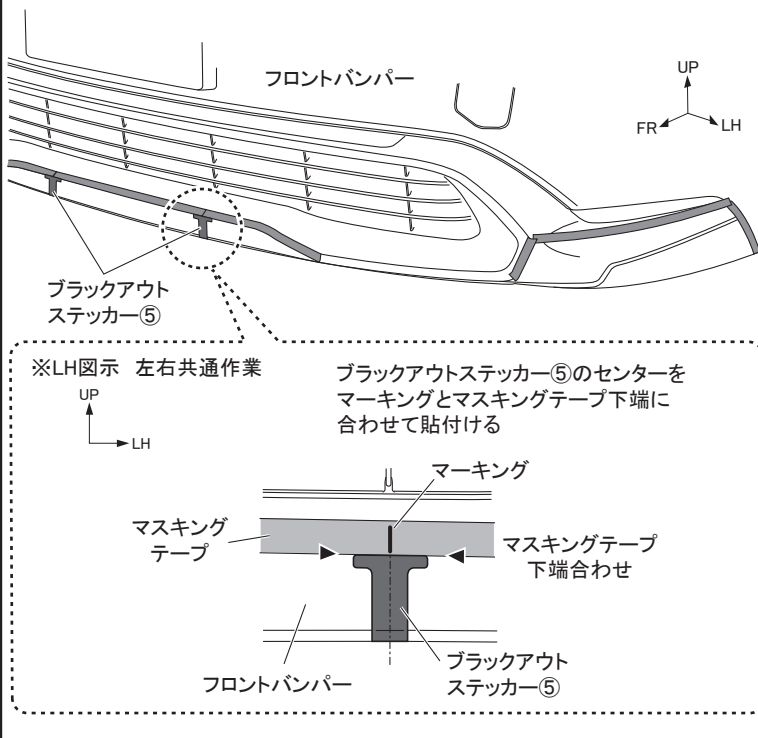
14. 図9 〰部(両面テープ貼付け部)にPACプライマーN-200⑧及びPACプライマーK-500⑨を塗布する。

⚠ **注意** : PACプライマーは必ず塗布部位により使い分けてください。

塗装面 : N-200
素地面 : K-500

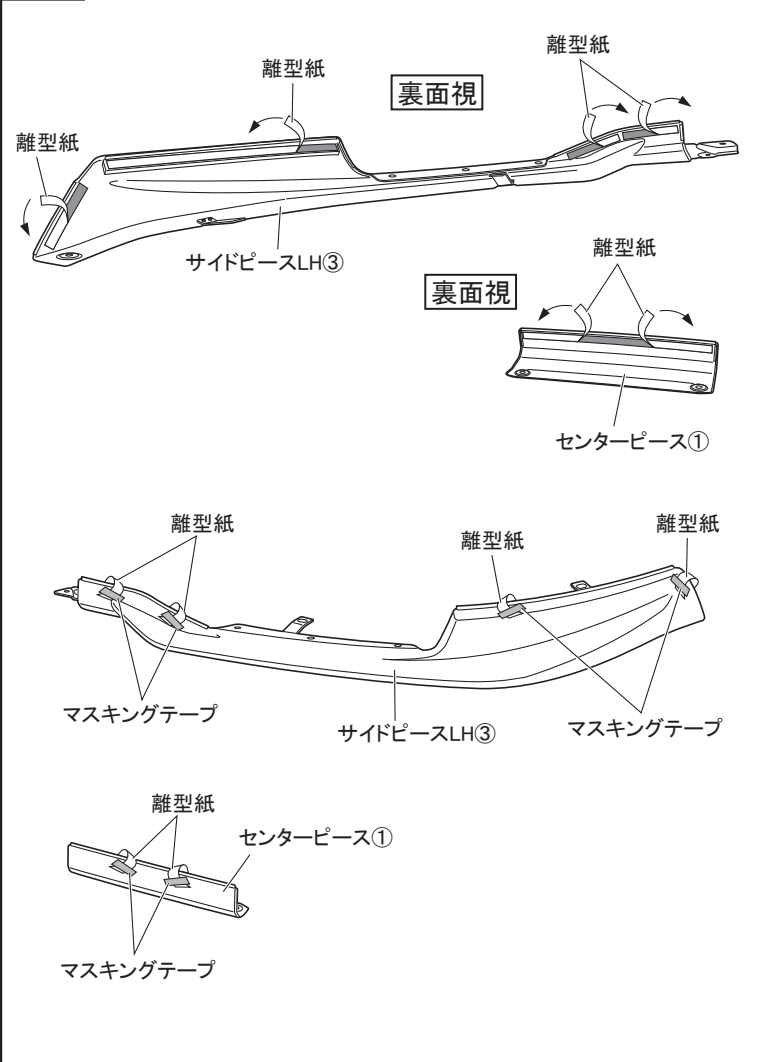
👉 **アドバイス** : PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させてください。
PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図10 ※LH図示 左右共通作業



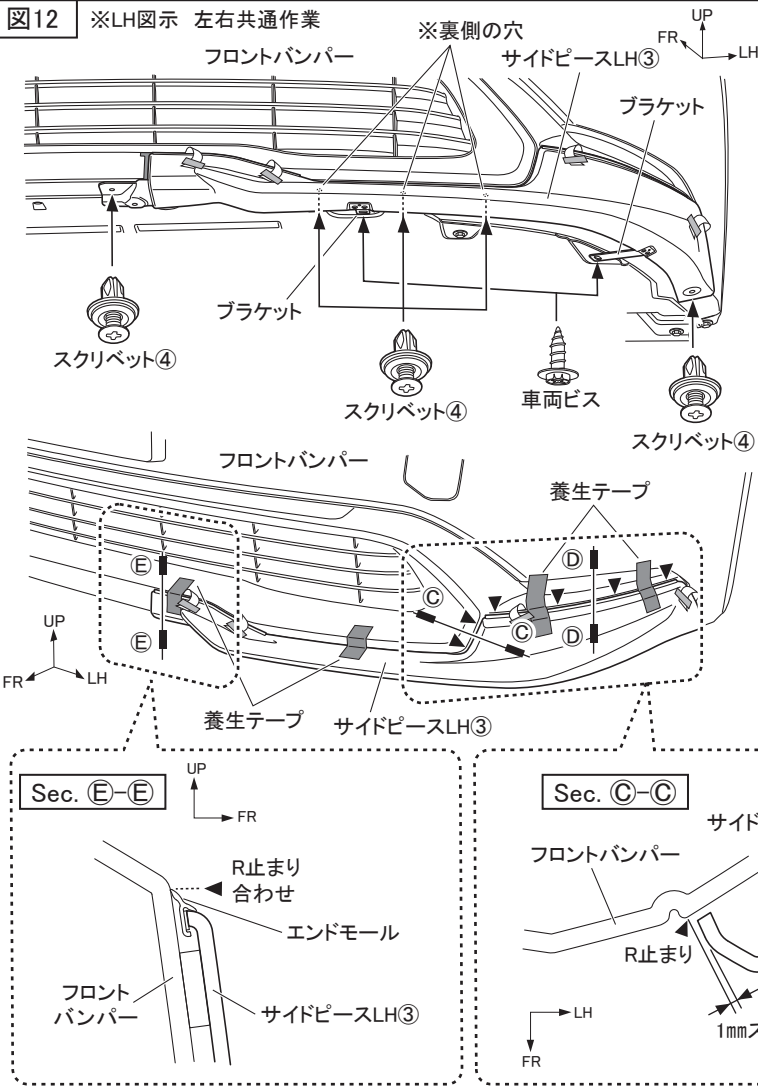
15. 図10のように「11.」の工程で印したマーキングに合わせ、フロントバンパーにブラックアウトステッカー⑤を貼付ける。
16. 貼付け後、マス킹テープを剥がしてください。
ブラックアウトステッカー⑤を剥がさないよう注意してください。

図11 ※LH図示 左右共通作業



17. 図11のようにセンターピース①、サイドピースLH③裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折返してマス킹テープで貼付ける。
(全10箇所 ※サイドピースRH②を含む)

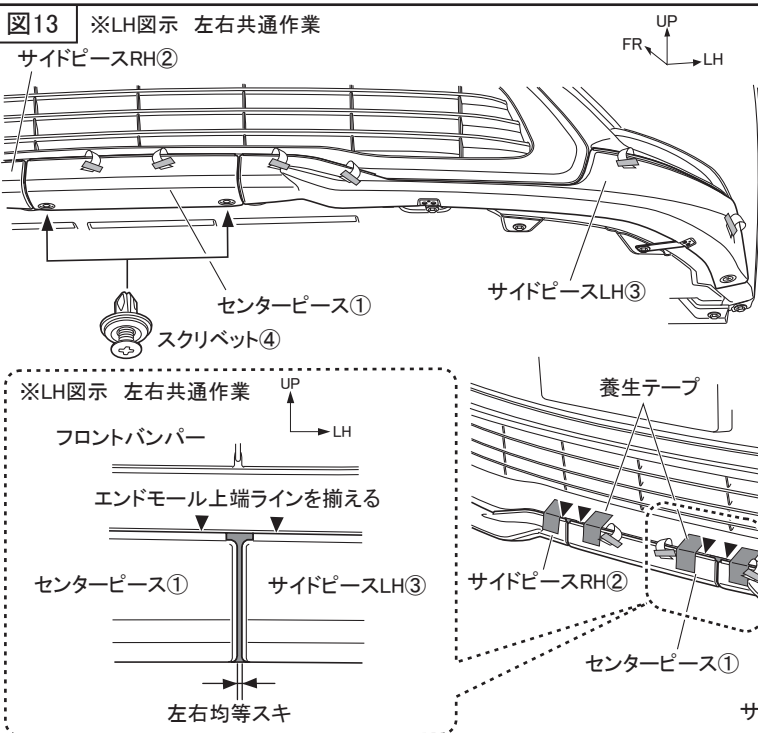
□ フロントスポイラーの取付け要領



1. 図12のようにフロントバンパーにサイドピースLH③をあて、先にブラケット部を車両ビスで仮固定、次にスクリベット④で固定する。(7箇所)

📌 **アドバイス**：スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーで回して締め込んでください。

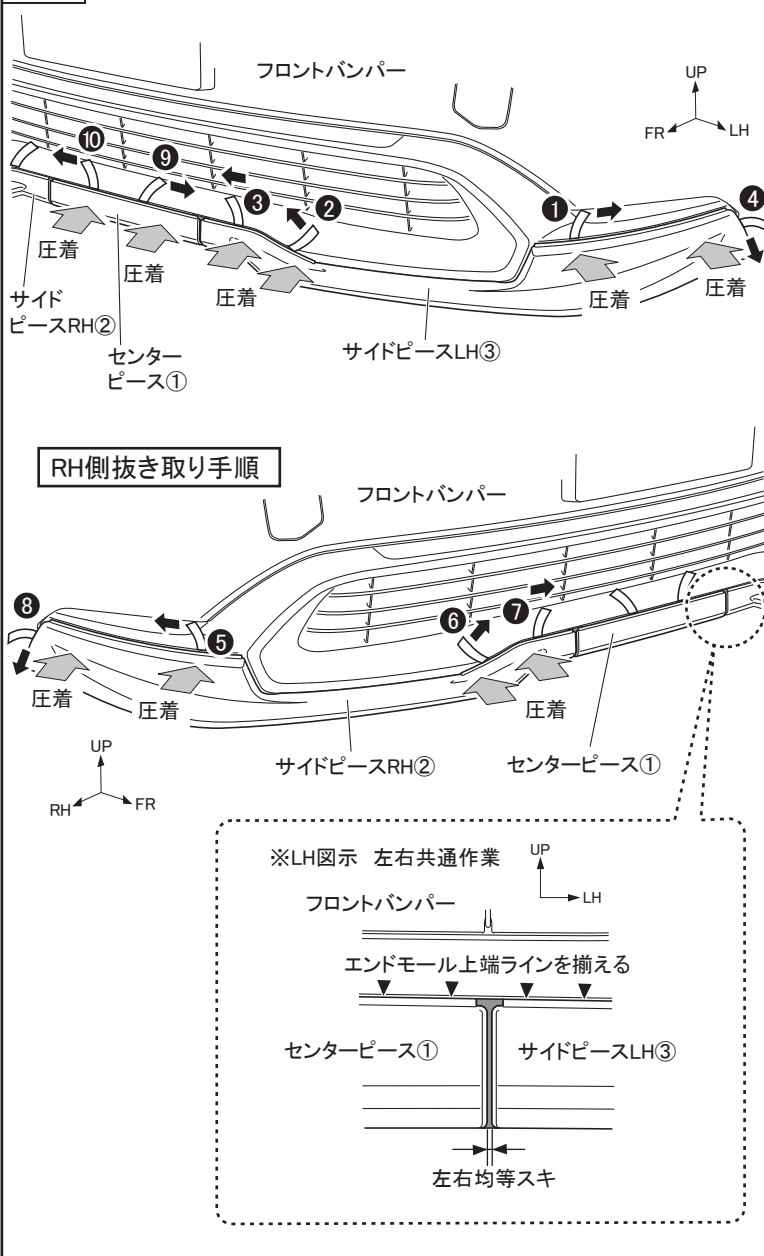
2. 図12のようにサイドピースLH③とフロントバンパーの位置を合わせて養生テープで仮固定する。
3. 同様にサイドピースRH②も仮固定する。



4. 図13のようにフロントバンパーにセンターピース①をあて、スクリベット④で固定する。(2箇所)

5. 図13のようにサイドピースRH②とサイドピースLH③のエンドモール上端に位置を合わせて養生テープで仮固定する。

図14 ※LH図示 左右共通作業

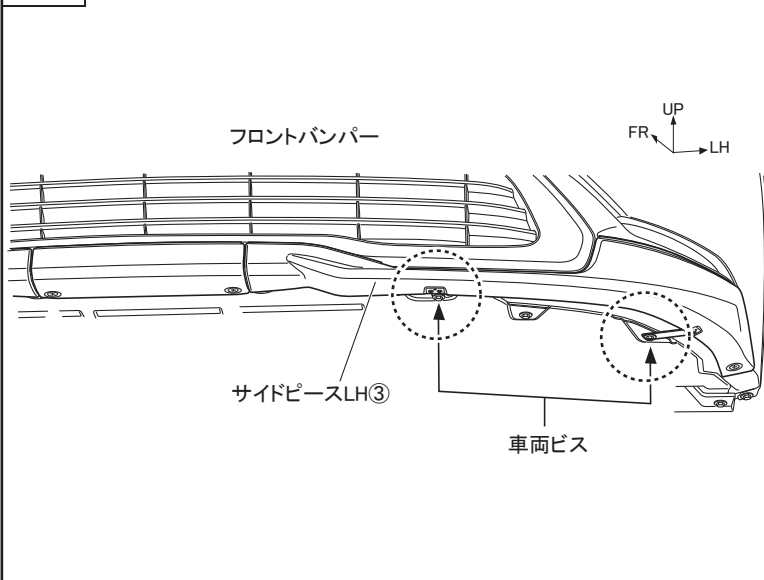


6. 図14のように両面テープ離型紙を①～⑩の順に矢印の方向へ剥がしながら圧着する。
 ※⑤～⑧はRH側の剥がし順です。LH側と同様に剥がし、圧着する。

アドバイス：両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

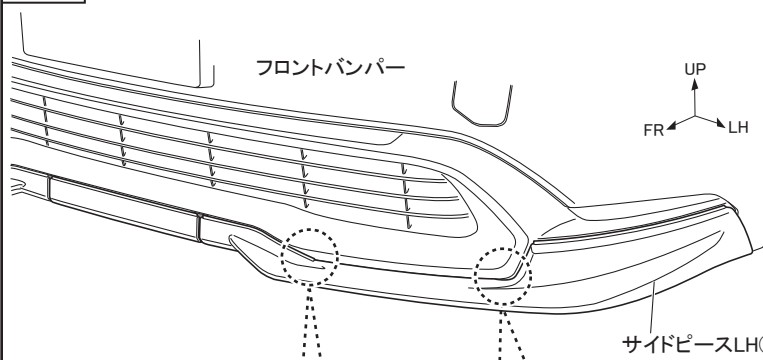
警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図15 ※LH図示 左右共通作業



7. サイドピースLH③下面部の車両ビスを本締めする。(2箇所)

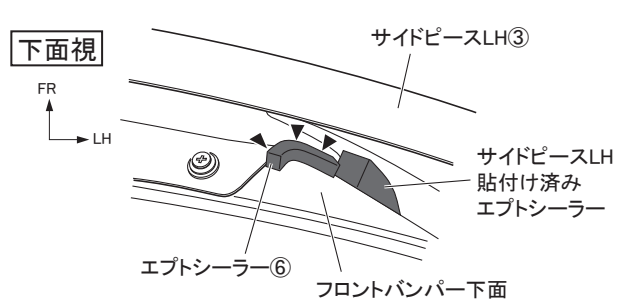
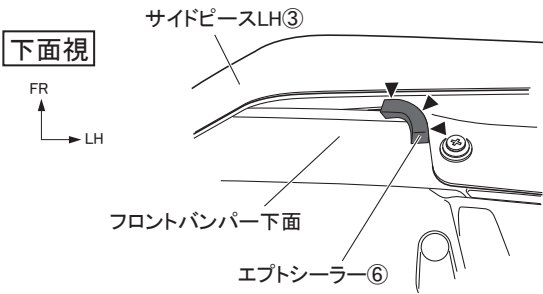
図16 ※LH図示 左右共通作業



8. 図16のように○部のスキを裏側から塞ぐように、フロントバンパー下面にエプトシーラー⑥を貼付ける。(2箇所)
9. 全てのマスキングテープ、養生テープを剥がす。

※LH図示 左右共通作業

スキを塞ぐようにサイドピースLH③端末に沿わせて貼付ける



■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 参考

補修キット(品番:MS380-47H01)を使用してフロントスポイラーの取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼付けてください。

※両面テープを貼付ける際は、貼付部を脱脂し、プライマー(PACプライマー-N-200相当)を塗布してください。

図17 ※LH図示 左右共通作業

【フロントスポイラー側】

RT8012
厚さ:1.2mm
幅:10mm

【車両側】

RT8020
厚さ:2.0mm
幅:10mm

RT8025
厚さ:2.5mm
幅:10mm

RT8025
厚さ:2.5mm
幅:10mm

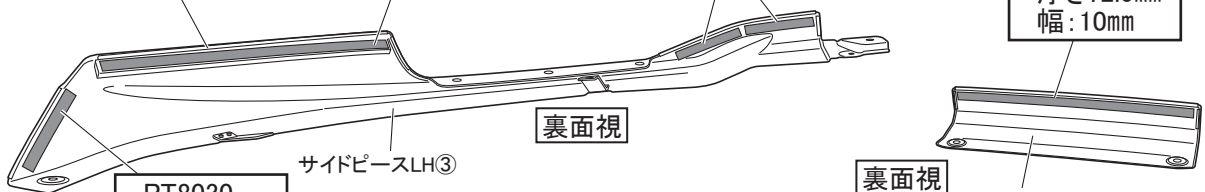
RT8030
厚さ:3.0mm
幅:10mm

サイドピースLH③

裏面視

裏面視

センターピース①



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

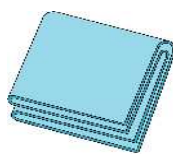


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

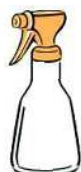
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



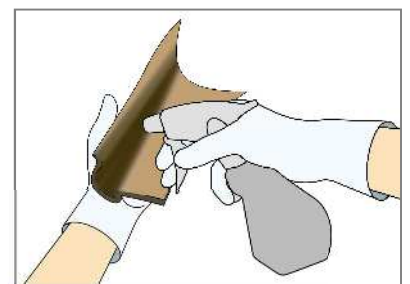
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

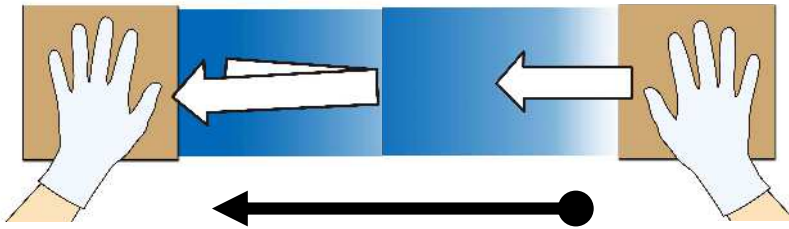
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

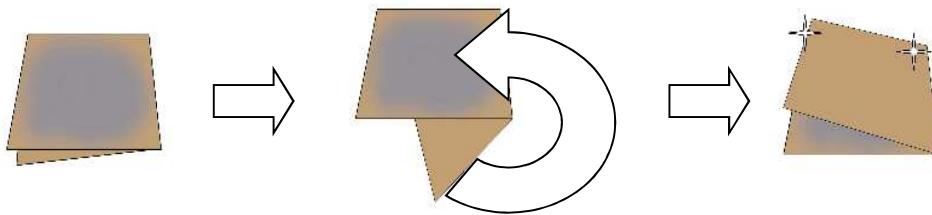
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。